

平成二十九年五月の作品（五月一二日（金））（第五一回）

（文京シビックセンター5階D会議室）

神名備のしづけさにゐてほととぎす（一江）

出湯まで古道険しや花木きぶし五倍子（清助）

海棠の雨やはらかに禪の寺（隆治）

初夏の庭色鉛筆の箱のやう（太郎）

万緑の気を取り込みて太極拳（孝昭）

牛鳴いて空の広さに花林檎（前歩）

新緑の匂ひの中に叔母を訪ふ（貴美）

咲き盛りいまをしづかに大牡丹（平六）

故郷に孫を呼びたる鯉のぼり（正雄）

夕暮れの薄く霞める桜かな（奉男）